

令和4年度第1回池田市図書館協議会会議録要録

日 時：令和4年7月10日（日）午前10時～11時45分

場 所：池田市立図書館 多目的室

出席者：（委員）藤原会長、大森副会長、平井委員、佐藤委員、前西委員、入江委員
（事務局）大賀教育部長、林図書館長、塚原石橋図書館長、他職員3名

欠席者：伊勢委員、谷向委員、中嶋委員、南委員

傍聴者：なし

議 題：1 令和3年度池田市立図書館の運営に関する評価について
2 石橋図書館の開館状況について

配布資料 ・第1回図書館協議会出席者名簿
・令和3年度池田市立図書館の運営に関する評価（案）

<事務局挨拶>

会 長 令和3年度池田市立図書館の運営に関する評価（案）について事務局より説明をお願いいたします。

事務局 それでは、(1)の基本的な利用に関する評価についてご報告させていただきます。
<事務局より説明>

会 長 コロナ禍で図書館の利用を増やすことは物理的に困難である部分もあると思いますが、逆にコロナ禍であったから伸ばしていった部分もあるのではないのでしょうか。現実的にコロナ禍では成果を上げられない分野はコロナ禍があけてから取り組み、今はできることに焦点を当てて成果を上げていくことも必要かと思えます。

事務局 コロナ禍で出来るサービスとしては、インターネットのパスワード取得方法を簡易化し、臨時休館中に予約資料のみの受け渡しをするなどの対策を講じたことにより、貸出人数については増加しております。また、令和4年度より導入した予約棚設置により自動貸出機の利用がかなり増加しており、スタッフの案内もあり利用者へ利用方法が徐々に定着してきているように感じます。また、それに伴いインターネットの利用も増加しており、コロナ禍でも成果を上げている部分であると考えております。

委 員 貸出人数の増加は評価してもいいのではないのでしょうか。来館者数や貸出冊数は割合でいうと数%程度の減少とわずかなものですし、コロナ禍で利用増が難しい中で同程度の水準を保っているのは評価すべきではないのでしょうか。

委 員 割合での増減も評価案に表記してもらえるとわかりやすくなり、評価しやすいと思います。

会 長 それでは協議会からの評価は来館者・貸出人数・貸出冊数についてはA、有効登録者数についてはBということによろしいのでしょうか。

- 全委員 異議なし。
- 事務局 続きまして、(2)の「池田市立図書館運営基準」に基づく施策評価にうつらせていただきます。〈事務局より説明〉
- 会長 資料の収集については緊急事態宣言の休館を利用して適切に管理されているということで協議会の評価もAで良いかと思えます。石橋図書館について他施設と連携を図ったとありますが、他市の取組みとして図書館と他の施設との連携した事業が行われ、お互いに利用が盛んになったことで来館者数が増加した例があるそうです。ツナガリエ石橋内のダイバーシティセンターや地域子育て支援拠点との連携は今後も大事にしていきたいと思えます。
- 委員 ダイバーシティセンターと地域子育て支援施設の橋渡しになれるのは、図書館や社会教育施設をまとめる生涯学習の分野だと思うので、引き続き積極的に取り組んでいただきたいです。
- 会長 それでは次の「②市民が必要とする資料や情報を提供することにより、『地域の情報拠点』として課題解決に役立つ図書館をめざします」について説明をお願いします。
- 事務局 〈事務局より説明〉
- 会長 広域利用・相互貸借の促進の項目で、近隣他市民の池田市立図書館利用が減少しているとなりましたが、理由についてはどのように把握されているのでしょうか。
- 事務局 コロナ禍で移動制限がありましたので、買い物など用事がある場所の近辺にある図書館を利用される方が多いのではないかと考えております。また、池田市は池田市立図書館と石橋図書館の2館と移動図書館車の巡回という体制ですが、多くの館を有する自治体もあるので、そうした要因も考えられると思えます。
- 委員 広域利用については利用回数が多いことが良いことになるのかという点で評価が難しいですね。これからも、実態の把握や原因の分析は課題だと思います。
- 会長 課題解決サービスについてはA、それ以外は協議会からの評価も図書館の評価と同じでよろしいでしょうか。
- 全委員 異議なし。
- 事務局 続きまして「③子どもたちの豊かな『学び』を応援し、学校、家庭、地域等と連携して子ども読書活動の推進を図ります。」については6つの項目がございます。
〈事務局の説明〉
- 委員 おはなし会の開催回数が減少しているので評価をBとされていますが、それ以外の部分では子どもへの読書機会の提供の項目は成果を上げていると思えます。コロナ禍での行事開催は物理的に難しい部分だと思いますので、協議会の評価はAでいいと思うのですがどうでしょうか。おたのしみ福袋の企画も実際に体験しましたが、なかなか面白い企画で楽しむことができました。
- 委員 意義なし。
- 会長 最近の子どもたちはみんなタブレットを持っていて教材もDVD等ではなくデータで管理している場合も多くなっているようです。もちろん安全性には注意が必要ですが、図書館で作成した調べ案内などに学校からインターネットを通じてアクセスできるように整備すると、興味を持った子どもたちはすぐにアクセスできると思えます。
- 委員 最近では音声読み上げツールなども手軽に使えるようになっていきますので、パワーポイン

トのスライドと音声を組み合わせて簡単に動画の作成ができるようになっていきます。調べ方案内などにも手軽に活用できるのではないのでしょうか。

事務局 後の項目で記載しておりますが、現在も、学校見学が中止になった代替方法として、学校に司書が赴く出前授業の形で図書館の館内案内や利用方法をパワーポイントで作成した資料を用いて紹介しておりますが、今後も様々な方法を検討したいと思っております。

会長 ヤングアダルトサービスについても、市内小学生が多言語で翻訳した絵本を展示して、多文化理解についての情報発信をされるなど素敵な取組みをされているのでAが良いと思っておりますが、いかがでしょうか。

全委員 異議なし。

会長 学校図書館との連携についてですが、学校図書館からの連絡を従来のFAXだけでなくメールも受付できるようにして、迅速に対応できるように変更されたというのは良いことですね。

委員 学校への団体貸出用の配本や団体貸出の回数が減少したというのは、コロナによる緊急事態宣言や石橋図書館への移転作業が理由とのことですが、次年度からは例年通りできるようになると考えられますので、協議会の評価はBに上げてもいいのではないのでしょうか。

全委員 異議なし。

会長 最後の項目の見学や職場体験の受入れという項目ですが、先ほどご説明いただいたように、学校の見学が新型コロナウイルスの影響により中止になったところを、代わりに図書館職員が学校に出前授業を行う形で実施されたとのことですが、今後もうまくいけば図書館見学の代わりとしてだけではなく、別のサービスとして機能させることも期待できますね。

事務局 続いて「④図書館ボランティアとの協力を深めるとともに、市民同士の交流の機会・場を提供し、市民がわくわくしながら集い、出会う、楽しい図書館をめざします。」については3つの項目がございます。〈事務局より説明〉

会長 コロナ禍で図書館まつりが実施できなかったということですが、書架整理のボランティアやボランティア団体の研修等は増加しているということですね。

委員 私の知人が、図書館でのボランティアに参加していますが、コロナ禍で活動を全て制限されるのではなく、感染症対策を実施したうえで活動できたので、ボランティアへの参加機会がなくならず良かったと申しておりました。

会長 コロナ禍でも状況に応じて柔軟に対応されているということですね。

委員 「歯医者さんの子育て応援講座」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかったとありますが、オンラインで開催するというのはどうでしょうか。

事務局 行事の種類によってオンラインでの開催が可能か精査する必要があることや、図書館で開催することで、貸出・返却に来たついでに行事に参加できるといったメリットもあるので、内容については慎重に考えていきたいと思っております。

会長 各種行事とありますが、具体的にはどんな内容の行事を開催されているのでしょうか。評価案にもそういった内訳を記載していただきたいですね。

事務局 現在開催しているのは子ども向けのおはなし会がメインとなっており、高齢者の方に向けた行事については新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが懸念されるため実施には至りませんでした。今後は、評価に具体的な行事を掲載するよう検討いたします。

委員 「歯医者さんの子育て応援講座」について開催ができなかったため評価をBとされていま

すが、図書館が開催する行事のメインともいえるおはなし会については感染症対策を実施しながら開催に努めていたという点で、協議会からの評価はAとするのはいかがでしょうか。

全委員 異議なし。

会長 続いて図書館協議会についての項目ですが、委員の欠席が多いことが気になります。欠席される方を責めるわけではないのですが、協議会のあり方として積極的に参加し意見を出していくことが重要だと感じます。

委員 そうですね。今後のためにも協議会からの評価はBとしてもよいと思います。

委員 協議会での意見を受けて図書館運営において改善したことや、協議会からの要望を実現したことなどがあればそちらも評価案に加えてほしいと思います。

事務局 ハザードマップの展示等、それぞれの項目にご意見をいただいて改善した内容を盛り込んでおりますが、今後は協議会の項目にも掲載するよう検討いたします。

会長 続いて「⑤高齢・障がいなどの理由により図書館利用が困難な市民へのサービス拡充や情報提供の格差解消に努め、誰にでもやさしい図書館をめざします。」の項目について説明をお願いします。

事務局 <事務局より説明>

委員 障がい者支援資料について利用者数は減少していますが、蔵書数は増加しているということですので、障がい者支援資料の充実という点では達成できていると思います。

会長 デイジー図書というのはあまり学校図書館などでは見かけませんが、そういった場所に設置することはできないのでしょうか。

事務局 デイジー図書は障がいのある方が利用できる資料となっており、支援が必要な児童・生徒が借りられるように、手続き等を学校図書館にも周知しております。

副会長 利用者数の増減については利用される方の事情によって変わることもありますが、障がい者支援資料を利用できる体制は整えられていると思いますので協議会の評価はAで良いと思います。

会長 多言語サービスの充実についても石橋図書館に洋書コーナーを新設された点や英語多読コーナーの冊数が増加している点から評価はAで良いと思いますがいかがでしょうか。

全委員 異議なし。

委員 移動図書館車を新車両に更新されたということで、図書館への来館が困難な市民へのサービスも引き続き行っていただけそうですね。

会長 それでは最後に石橋図書館の開館状況について説明をお願いいたします。

事務局 <事務局より説明>

委員 石橋図書館に実際に行かせていただきましたが、「ツナガリエ石橋」と大きく表記がありますが、初めて来た人は中に図書館があることが分かりにくいのではと感じました。自転車置き場の案内も少しわかりにくいように感じました。

委員 確かに建物の中に図書館があることを知らない人は、3・4階に図書館が入っていると思わないかもしれませんね。

事務局 館内の入口右手には、大きく石橋図書館の表示があり、次にフロアマップ、また4月以降は、入口左手にデジタルサーネージを設置しております。

委員 建物内のエレベーターが少し狭いように感じました。ベビーカーが2台は入れないと思

ます。

事務局 建物の構造については、利用しにくい点は案内を工夫する等、改善を図っていきたいと考えております。

会 長 市のサービス機関として市民がわかりやすく利用しやすいことが第一です。市民サービスが達成できるよう、行政として今後も住民が利用しやすい施設の在り方を、前向きに考えていただければと思います。それでは、他になれば令和4年度第1回の協議会を終了いたします。